



ace
HELMET

取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読みください

この度は、本製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。この取扱説明書はDFGヘルメットの正しい取り扱い方法について説明しております。ヘルメットの取り扱いをご存知の方もこのヘルメット独自の装備、取り扱いがございますので、ご使用になる前に必ずお読みください。また、お読みいただいた後は大切に保管して下さい。

ヘルメットはいかなる事故にも絶対の安全を保障するものではありません。万一の際の危険の度合いを減らす装備のひとつであり、安全の一要素に過ぎません。安全で快適なバイクライフを楽しむためにも、この取扱説明書の内容をよくご理解くださいますようお願いいたします。



DFG WEBサイト

商品の詳細についてはHPをご確認ください。
<https://dfgmoto.jp>

製品の欠陥により事故がおきた場合

「賠償手続きは以下の通りです」

- 1.製品の欠陥による事故がおきたら、すぐ一般財団法人製品安全協会へ連絡してください。TEL：03-5808-3303
- 2.「事故発生届」または「賠償措置実施請求書」を提出してください。
(原則として事故発生より60日以内)
- 3.事故の状況を伺うとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
- 4.以上の調査結果を検討して、賠償するかどうかが決定します。

SGマークについてのお問い合わせ先

一般財団法人 製品安全協会 TEL：03-5808-3300
〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2F

DF DIRT FREAK

株式会社 ダートフリースク

〒489-0005 愛知県瀬戸市中水野町2-30
TEL：0561-86-8301

SGマーク

SGマークは(Safe Goods)安全な製品の略号で一般財団法人製品安全協会が定めたものです。構造、材質、使いみちなどから見て、生命または身体に対して危害を与える恐れのある製品について、安全な製品として必要な事を決めたSG基準を、一般財団法人製品安全協会が定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。

PSCマーク

PSマークのPはProduct(製品)、SはSafety(安全)の略号で国が定めたものです。なお、PSマークの下のCはConsumer(消費者)の略号です。国は、消費生活用製品のうち一般消費者の生命または身体に対して特に危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品を「特定製品」として政令で指定し、国で定めた技術上の基準に適合しているかどうかチェックします。合格した製品にはPSCマークの表示がされ、PSCマークを表示していないものはその販売を禁止されています。

乗車用ヘルメットの有効期限は「購入後3年です」

ヘルメットは使用に伴い老朽化、劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できない事もあります。このためSGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年」との有効期間を定めております。有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れもありますので、十分ご注意ください。また、3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損、改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れがありますので、十分ご注意ください。

SGマークの被害者救済制度について

SGマークは一般財団法人製品安全協会の定めるSG基準に適合するものであることを示しています。万一、このヘルメット(シールド等の付属品は含まない)の欠陥により人身事故が発生した場合は、SGマーク被害者救済制度による賠償措置の対象となります。但しオートバイを特殊な用途(プロオートバイレース/サーカス等)に用いている際の負傷や、あご紐を締めない等の正しい使い方をしていない場合、あるいは、SG基準が定めるヘルメットの性能を超える衝撃を受けた場合の負傷等は、賠償の対象になりません。

ヘルメットの保護能力には限度があります。

本製品は国の定める安全基準を十分満足しておりますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全という訳ではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒の際、外部からの衝撃を軽減するものに過ぎません。

必ず守って頂きたい注意事項

・使用前点検を必ず行ってください。

構成部品が正しく取り付けられているか乗車前に点検してからご使用ください。内装等の取り付け部品がしっかり固定されていない場合、ヘルメットが本来持つ機能や保護能力を十分に発揮できません。よく確認してご使用ください。

・頭に合ったサイズのヘルメットをお使いください。

大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。また小さすぎるヘルメットは頭を締め付け痛くなる事があります。首を振ってもズレない頭に合ったサイズのヘルメットをお使いください。

・あご紐はしっかり締めてください。

あご紐を締めなかったり、ゆるい締め方では走行中にズレたり、万一転倒した際に脱げてしまい、頭を守ることができません。

・走行中のヘルメットの機能操作は危険ですのしないでください。

走行中のヘルメットの機能操作(あご紐や内装類の調整など)は非常に危険です。各機能操作はオートバイが停止状態のときに行ってください。

・大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上損傷がなくても使用しないでください。

ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが潰れる事で衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けた後は既にライナーが潰れている場合が多いため、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。

・ヘルメットの改造は絶対しないでください。

ヘルメットに穴をあけたり、削ったりする事は、性能を損ない非常に危険です。また、着脱可能な部品を取り外したままでの走行も大変危険です。

・ヘルメットのお手入れには薄めた中性洗剤をご使用ください。

熱湯(50度以上)や塩水、ベンジン、シンナー、ガンソリン等を使用しますとヘルメット本体に悪影響を与えますので、絶対に使用しないでください。汚れは中性洗剤を薄めて柔らかい布で拭き取る様にしてください。

・ヘルメットに塗料、接着剤、ガンソリン、その他いかなる溶剤もつけないでください。

溶剤よりジェル及び衝撃吸収ライナーが侵され衝撃吸収力が低下する場合があります。

・ヘルメットを持ち運ぶ際の注意事項。

ヘルメットは必ず本体またはあご紐を持ってお取り扱いください。内装やパイザーをつかんで持ち運ぶとヘルメットを落とす恐れがあります。また、ヘルメットをオートバイのホルダーに付けたままの走行はオートバイの操縦に支障をきたすことがあり大変危険ですのでおやめください。

・高温になる所にヘルメットを放置しないでください。

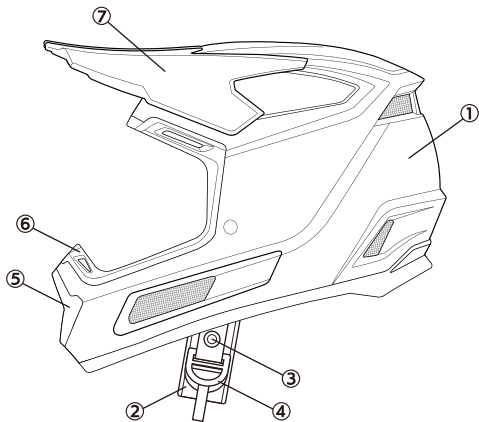
直射光線の当たる所や、暖房器具の近くなど高温になる場所に長期間放置すると熱によりライナー等が変形し衝撃吸収能力が低下する恐れがあります。

・ヘルメットの交換の目安は購入後3年です。

正常に使用されていても目に見えない材料の劣化が進み、ヘルメットの性能は低下していきます。購入後3年が経過したヘルメットは事故や転倒の際に十分に保護性能を発揮しない恐れがありますので早めに新しいヘルメットに交換して下さい。

各部名称

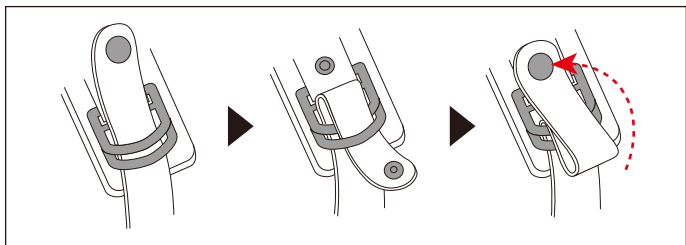
- ① シェル
- ② チンストラップカバー
- ③ チンストラップボタン
- ④ Dリング
- ⑤ マウスピース
- ⑥ マッドガード
- ⑦ パイザー



※反射防止シートはホワイトのモデルなどのパイザー裏の色が明るい物にのみ付属します。

あご紐の締め方

あご紐が下の図の様に正しく装着できているか、しっかりと緩みなく締められているか、必ず確認して下さい。あご紐がたるんでいる様であれば、締め直して下さい。確実にあご紐が締められていないと、万一転倒した際にあご紐が外れてヘルメットが脱げてしまい大変危険です。



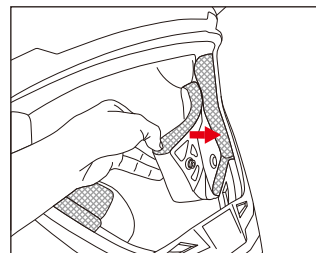
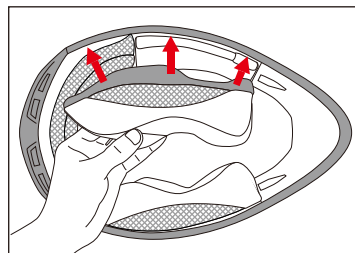
※ヘルメットを使う前に、パッドが正しい位置にあるかを必ず確認してください。パッドが適切に取付けられていないと、事故発生の際、深刻な負傷の危険が高くなる恐れがあります。

チークパッドの取付け

1. ヘルメット下部のスリットにチークパッドのプラスチック板部分を差し込みます。
2. チークパッドのボタン (3カ所) を取付けます。

チークパッドの取外し

1. チークパッドのボタン (3カ所) を外します。
2. ヘルメット下部のスリットからチークパッドのプラスチック板部分を引き抜きます。
※ボタンを外す際はボタンの根本部分をつかんで外すようにしてください。布部分のみを引っ張るようにして外すと、チークパッドの生地が破れたりボタンが破損する可能性がありますのでご注意ください。

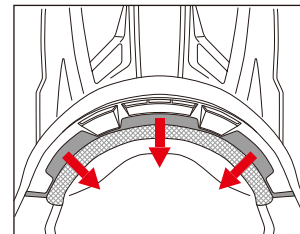
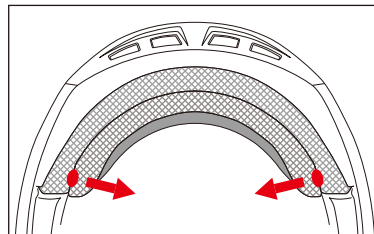


インナーライナーの取外し

1. 前側のプラスチック板をヘルメット側のスリットから引き抜きます。
2. 後側のボタン (2カ所) を外してインナーライナーを取外します。

インナーライナーの取付け

1. 後側のボタン (2カ所) をはめ込みます。
2. 前側のプラスチック板をヘルメット側のスリットに差し込みます。



チンストラップカバーの取付け方

チンストラップカバーをチンストラップに通し、ボタンを「パチッ」と音が鳴るまではめ込みます。

チンストラップカバーの取外し方

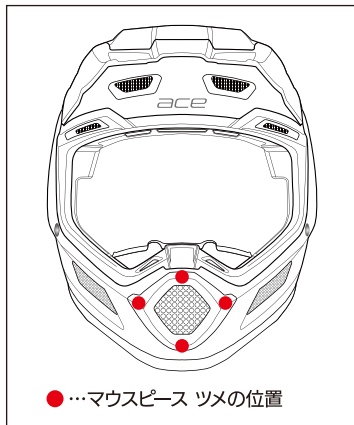
チンストラップカバーのボタンを外し、チンストラップから引き抜きます。

マウスピースの取付け

- 1.マウスピースをセットします。
- 2.マウスピースの左右のツメがヘルメット側の穴に確実に入ったことを確認し、押し込んで取り付けます。
- 3.押し込んだ際に4カ所のツメが「パチッ」と音が鳴ったことを確認し、確実に固定してください。
- 4.スポンジフィルターをヘルメット内側から取付けます。

マウスピースの取外し

- 1.マウスピース部分のスポンジをヘルメットの内側から外します。
 - 2.マウスピースをヘルメット内側から押し出すように取外します。
- ※マウスピースは上下左右の計4カ所のツメで固定されています。外れにくい場合は左右のツメから順番に1カ所ずつ取外して下さい。

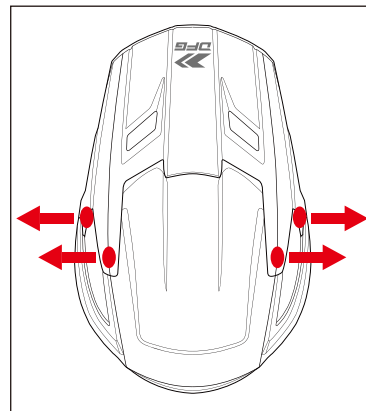


バイザーの取付け

1.バイザー側のツメ (片側2カ所) を横方向に押し込み、ヘルメット本体に取付けます。

バイザーの取外し

1.バイザー側のツメ (片側2カ所) を横方向に引き抜くようにし、ヘルメット本体から外します。



インカム等を使用する場合

ヘルメット本体にインカムなどを使用する場合はチークパッドの穴を利用して、コード等を通してください。

